

## 病院の概要

開設	昭和21年3月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	野村 明広
病床数	358床
標榜科 (26科)	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、精神科
医師数	50人
指導医数	32人
研修医数	3人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、慶應大学 チェコ共和国国立パラツキー大学
外来患者数	858.6人/日 (平成28年度実績)
入院患者数	267.7人/日 (平成28年度実績)



応募資格	平成31年3月国家試験合格見込者
採用人数	4人(予定)
試験日程	平成30年8月(予定)
選考方法	面接
処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身分：常勤医師</li> <li>●給与：1年次 基本給30万円/研究手当5万</li> <li>●          2年次 基本給35万円/研究手当10万</li> <li>●賞与：1・2年次 夏季手当 基本給の1ヵ月分</li> <li>●          1年次 年末手当 基本給の1ヵ月分</li> <li>●          2年次 年末手当 基本給の2ヵ月分</li> <li>●社会保険：有り ●公的年金：有り</li> <li>●労働災害保険：有り ●宿舍：単身用有り</li> </ul>

## 病院の理念

患者さんを第一に考え、安全で安心な医療を提供し、地域社会に貢献できるよう努める

## 院長からのメッセージ

野村 明広 病院長



当院は、救命救急センターを併設した地域中核病院です。小児医療・周産期医療も担っており、また周辺の地域医療機関にて対応困難な多くの症例が当院に搬送されてくるため、多種多様な疾患を経験できることをお約束いたします。研修医指導に関しては、教育に熱心な医師が

多く、また各科の垣根も低く専門医へのコンサルテーションが容易に行えるため、疾患に対する理解も深まり、充実した研修生活を過ごすことができます。教科書で学んだ疾患を、知識だけではなく、実際に当院で体験してみませんか。皆さんが当院に研修に来られることを心よりお待ちしております。

## 研修責任者コメント

飯塚 正 内科部長



当院は救命救急センター（年間受診者数16,425人、年間救急車搬送数3,018件）を擁しており、1次から3次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。また、第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して専門性の高い医療を提供し、当地域の最後の砦として地域医療を支えています。

「鉄は熱いうちに打て」とことわざにありますが、研修医時代に幅広い医療を多く体験し、知識と技術を会得することは、医師としてどの方面に進もうともきわめて重要です。当院の症例、指導医、設備いずれも充実した医療環境の中で研修することは、それらを可能にします。当院の提供する豊富な研修材料を利用して、何でも貪欲に吸収しようとする熱意ある研修医を求めます。

## 研修医コメント

中川 翔太



当院は3次救命救急センターを有し、非常に数多くの症例を経験することが出来ます。そして先生方は熱心な方が多く、丁寧な指導を受けることが出来ます。院内でのカンファランス症例発表を通して症例毎の考察を深めることが出来、医師として必要な思考・知識から経験までが身に付きます。ぜひ一度当院に見学いらしてください。

## 研修医コメント

前田 智早



当院は地域の最後の砦として、軽症、重症問わず多様な患者さんに対する医療を日夜提供しています。

1次～3次救急を通してあらゆる疾患を実臨床の中で経験できるというのは、初期研修において最適な環境ではないでしょうか。また当院は私たち研修医の意見を基に、常に研修体制の改革を意欲的に行なっています。ぜひ一度当院へ見学においでください。

## 研修プログラムの特色

全ての必須科目、選択必須科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能である。なかでも救命救急センターは三次救急のほか一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療能力が可能である。筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており、同院の診療科で必修科目の研修も可能である。第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能。更に、「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加し、選択枠ではプロジェクトに参加する病院での選択研修も可能。

## 研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (3カ月は筑波大学附属病院又は水戸協同病院で研修可)						救急			選択必修1		
2年次	選択必修2			地域医療	※ 選択							

選択必修：外科・小児科・産婦人科・精神科から2科を選択

地域医療：茨城西南医療センター病院附属八千代診療所

※選択枠では、筑波大学附属病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加する下記の病院での選択研修が可能です。

【参加病院】●J Aとりで総合医療センター(取手市) ●友愛記念病院(古河市)

●震ヶ浦医療センター(土浦市) ●茨城西南医療センター病院(当院)

## 研修医対象の救急・総合診療に関する

クリニカルカンファレンス毎月定期開催しています。

プログラムアドバイザー：筑波大学附属病院

救急・集中治療部長 井上 貴昭教授

総合診療グループ長兼総合臨床教育センター部長 前野 哲博教授



## 研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本外科学会認定医制度修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
- ・日本呼吸器外科学会関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・日本胸部外科学会関連施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設(補完施設)
- ・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本がん治療認定機構認定研修施設

## アクセス



■JR東北線の場合

古河駅西口より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分

■東武伊勢崎線の場合

東武動物公園駅より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分

■常磐自動車道 谷和原ICより約50分

■圏央道 境古河ICより約7分

## 女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置  
(0歳児から小学校就学前)  
(毎週月・木は24時間保育)
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除
- ・育児短時間勤務可能



保育所

## 応募問合せ先 茨城西南医療センター病院

〒306-0433 茨城県猿島郡境町2190  
 担当者：庶務課 佐藤  
 TEL：0280-87-8111(内戦2421)  
 FAX：0280-86-7702  
 E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp  
 URL：http://www.seinan-mch.or.jp

## 病院見学対応状況

★見学時間…随時(平日) ★対象…全学年 ★宿泊…可能(無料) 研修医の宿舎に宿泊可能(要確認)

★問い合わせ先…担当者：秘書室 小森谷 または 庶務課 佐藤 TEL：0280-87-8111 E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp